

ようじぐみだより 6月

令和3年6月1日 八千代保育園



きりんぐみ

きりんぐみは“ピーマン”の苗を植えて育てています。雨の日が続いてしまい、なかなか苗植えができない日が続く中で「今日ピーマンする!?!」「お水あげるんだよね!」と毎日とても楽しみにしていました。土おこしの最中に出てきた幼虫には大興奮で、「うごいたー!」「ウネウネしてるー」と夢中になって覗き込んでいました。

水をあげるたびに「すこし大きくなったよ!」と期待に胸がいっぱいの可愛い子どもたちです。それでも、「ピーマンは食べられない」と言葉にする姿もありますが・・・自分たちで育てたピーマンなら食べられるかな?楽しみにしています!!これから、みんなで生長を喜びながら大切に育てていきたいと思います。ぜひお家でも様子を聞いてみてください♪

ぞうぐみ

今年のぞうぐみの野菜栽培は“なす”です。苗植えの前にプランターに生えている雑草を取りました。「何で取っちゃうの?」と不思議そうでしたが「大きな美味しいなすを作るため」と伝え、はりきって1つ1つ丁寧に雑草を取っていました。次の日に苗植えをしてひとまず完成!!「毎日お水あげないとだよ」と、育てる楽しさをすでに感じている様子でした。“大きななす”ができるまでを楽しみにしながら観察もしていき、その時々の様子のお絵描きにもチャレンジしていきたいと思っています。梅雨の時期に入り室内での遊びが増えるかと思われそうですが、室内でも体を動かしたり、いろいろな遊びを友だちと一緒に楽しみ過ごしていきます。



らいおんぐみ

夏野菜の栽培に向けて草抜き、根っことり、土干しに張りきる子ども達。準備も整い、苗の前に「苗はどんな感じかな?」の質問に「きゅうりは葉っぱフカフカ」「茎はなんかザラザラだ」「オクラはスベスベ」と感触を言葉にしています。朝顔の種蒔きで掌に種を乗せると「ちっちゃいね!」の声と同時にそっと握りしめる姿もありました。自然を身近に感じて心を寄せる様子に成長を感じて嬉しくなりました。「毎日お水をあげないとね」「きゅうり、いつ大きくなる?」「朝顔、押し花にしよう」と生長や収穫を楽しみにする会話が続き、「発見・不思議・どうして」を大切に子ども達の興味を深めていきたいと思っています。

